

令和 7 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

大分県

行事名称	第 72 回文化財防火デー「大野老松天満社」防火訓練
実施期間・日時	令和 8 年 1 月 25 日（日）午前 10 時 00 分から
実施場所	国指定重要文化財「大野老松天満社旧本殿」（日田市前津江町大野 833 番地）
主催者	日田市

■実施内容

訓練の想定

タバコの不始末により大野老松天満社社務所付近から出火、大野老松天満社旧本殿への延焼の懸念。

訓練の内容

- ①火災発生を知った近隣住民が、現場を確認し直ちに大分消防指令センター（119）通報
- ②お宮関係者が駆け付け、近隣住民とともに放水銃等を作動させて放水（初期消火）、見学者を避難誘導
- ③通報から指令を受けた消防団員・消防署は現場に急行し消火活動を行い、初期消火班を避難誘導
- ④日田消防署・地元消防団の消火活動により火災鎮火

参加者及び役割分担

近隣住民（3名）：見学者役、通報、放水銃作動準備、初期消火
 お宮関係者（4名）：避難誘導、初期消火
 日田市消防団前津江方面団（1名）：消防団統括 同方面団第一分団（14名）：放水訓練、避難誘導
 日田消防署大山出張所（3名）：放水訓練 日田消防署（2名）：全体統括、講習
 防火設備管理委託業者（2名）：設備操作方法の指導、訓練運営の協力
 日田市文化財課・前津江振興局（7名）：現場立ち合い、訓練運営

特に工夫した点

- ・消防設備の操作方法についての試験運転による事前レクチャー
- ・延焼予防の訓練を兼ねて消防署によるウォーターカーテンを実施
- ・大分消防指令センター（119）通報における想定問答の作成

問題点・課題

地区住民の高齢化や過疎化によるお宮関係者の減少。経年劣化による文化財維持に関する負担が大きくなる中で、特に防火設備の維持管理や整備について今後、負担が増えてくるものと思われる。

その他

文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地区住民や関係機関などの文化財愛護意識を高めるとともに、防災の必要性を確認する機会となっている。

訓練風景



放水銃操作訓練



ウォーターカーテンによる延焼予防訓練